

ABEMA news / #アベヒル オフィス街に"迷惑喫煙者" 吸い殻散乱



ABEMA Times ニュースサイトから

タバコを吸うと必ず吸い殻が発生します。ほとんどの喫煙者は喫煙場所の灰皿に吸い殻を捨てている事でしょう。しかし、写真のような光景を目にすることがありませんか。灰皿がない所で喫煙し、その場にポイ捨てする人も少なくありません。

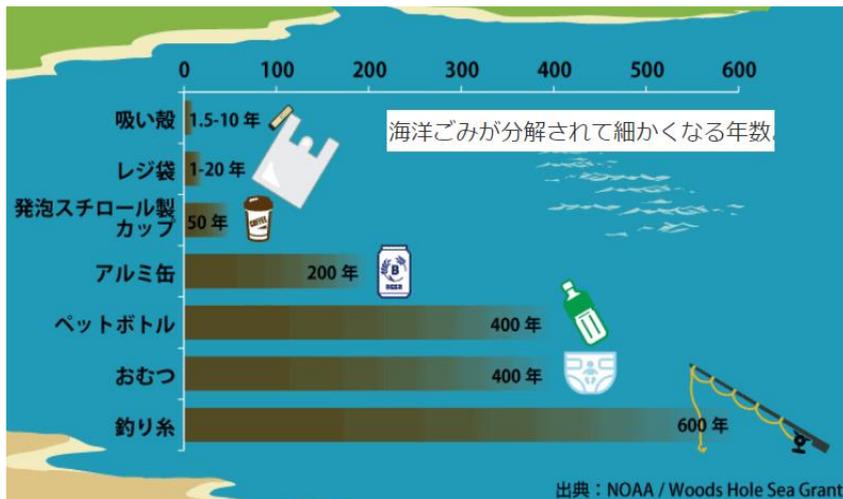
捨てられた吸い殻は雨風に流されて、いろいろなごみと一緒に溝から川へ、そして海に行きつきます。

ポイ捨てした人にとっては「たった一本の吸い殻ぐらい」という感覚でしょうが、それが積み積もると自然環境に影響するほどになるのです。

一番下のグラフは、ある機関が回収した海洋ごみの種類を示したものです。タバコの吸い殻は2番目に多かったと報告されています。そして、左のグラフのようにそのごみが細かく分解されるには、吸い殻で10年、ペットボトルで400年もかかることされています。



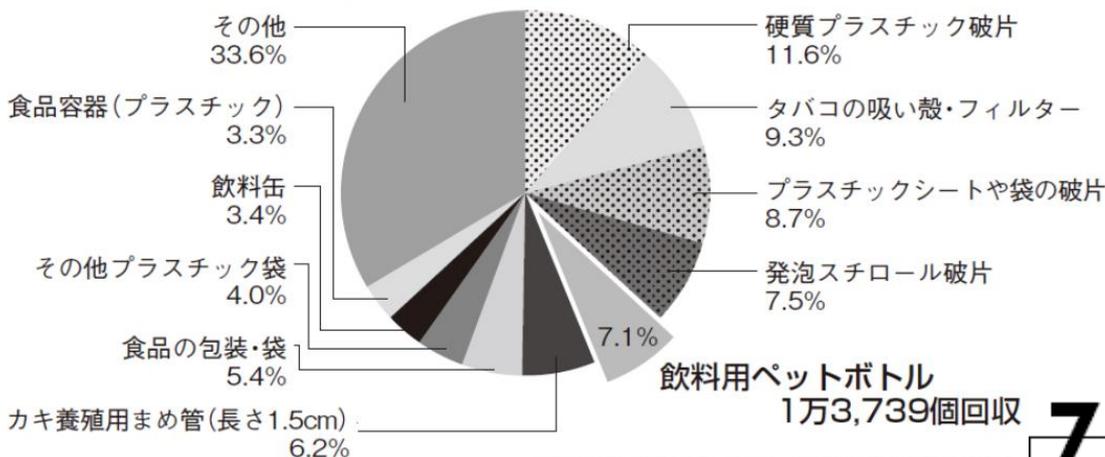
和歌山県 HP 循環型社会推進課サイトから



WWF ジャパン HP から

日本の国際海岸クリーンアップ(ICC)調査結果

2016年トップ10の割合



飲料用ペットボトル 1万3,739個回収  
出典:国際海岸クリーンアップ2016結果概要(JEAN)

いかがでしょうか、タバコは人体にだけではなく、地球にも優しくありません。

産業デザイン科 奥田恭久



In WAKO Since 2005